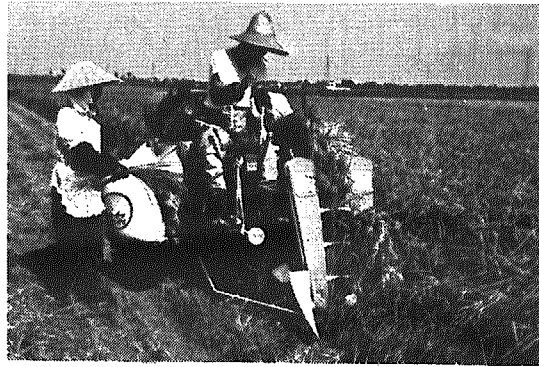


広報 JNCYCHO

第 30 号

発行所 黒埼村役場
発行人 清水 善夫
印刷所 小野塚印刷



省力化された反面、籾袋は予想外に軽い

収穫は減少

地域個人差目立つ

今年の稲作

今年の稲作は田植後空つゆ模様で経過し、特に近年まれにみる水害発生皆無という気象条件に恵まれたものの七月二十一日から二十

五日に至る五日間は南東の風が強くフェーン現象が続き、気温も三十五度前後を記録するという早生の出穂期にかなり影響を与えた。それ以前にも穂肥時期の天候不順による穂肥施肥量の不足などもあって、平年より草丈も低め、莖数、有効莖歩合の低下、一種当り着粒数も少な目という比較的小型な稲姿に仕上がった。病害虫発生についてもイモモチ、紋枯等も平年より少な目、ウンカ類の発生が近年になく多発したが、防除の徹底で減収は免かれ、加えて稲の倒伏も殆んどなく、収量のにはあまり期待できないが、米質については上位等級米が望めるような健全な作柄が本村の概況といえよう。

本村では良質米生産を目標とする良質米生産共進会を実施し、各農家から出品された約三〇〇点について去る九月二日と五日に坪刈審査を行ったところ、以外にも収量の少な

《村の動き》

8月現在(前月比)		
人口	17,620	+40
男	8,646	+21
女	8,974	+19
世帯数	4,015	+9
8月1日から8月31日まで		
死亡	7	
出生	39	
婚姻	9	

47.9.5現在

〔昭和47年度良質米生産共進会〕 審査中間成績部落別平均収量

部落名	審査点数	平均収量	最高収量	最低収量
金巻	14	505.6	610	449
板井	11	503.1	578	351
〃〃	10	539.0	634	444
〃〃	10	520.6	594	452
〃〃	24	530.4	611	449
木場	24	583.1	647	505
〃〃	18	547.6	625	428
〃〃	14	573.7	629	502
〃〃	14	584.9	697	499
〃〃	22	507.0	612	439
〃〃	18	517.2	569	460
〃〃	16	500.0	579	432
〃〃	24	517.8	581	418
〃〃	23	503.5	624	400
小平	23	471.0	598	391
方立	19	451.0	540	323

いことに関係者がつかりさせる部落が多く、特に地域差、個人差が大きいたことが今年の特徴で、最高最低の収量差も例年になく開き、現代の稲作農業の実態である「日中は人影がない」という生産意欲の減退と兼業稲作という時代の推移を如実にさらけ出した年である。

一方田植期の人手不足の解消と機械化一貫稲作体系を期す機械田植の収量が手植と比較し、共進会出品田、試験田とも振わず、特に本村では二〇%程度普及した機械田植がこのような傾向にあるといわれ、今後の技術対策に大きな課題を残した年になる。

黒埼村農業振興地域 整備促進協議会が発足

農業振興地域の整備に関する法律にもとづいて村の農業をこれからどう誘導すべきか、具体的に整備計画を策定して新しい時代に対応

この仕事は都市計画法とともに農業の将来にとっては大変重要なものでこれから皆さん方のご理解とご協力を得ながら進めて行かなければなりません。次により協議会の委員二十五名を紹介いたします。

- 江端 修吾 川合 長七
- 笹川 盛市 信田 敬
- 小林 賢助 久保田五助
- 佐野 悟 渡辺 関蔵
- 渡辺 重夫 鷺尾 賢治
- 岡田 幸男 安藤 忠治
- 外河 虎蔵 長谷川初雄
- 風間 七治 藤橋十三男
- 深沢 長一 駒沢 由衛
- 山際奥太郎 佐藤 平作
- 野崎太平一 五十嵐芳男
- 鷺尾 貞一 竹内 竹市
- 武田 源助

町制施行 万場一致で議決

九月定例村議会において、黒埼村を黒埼町とする議案が提案され九月十八日万場一致で可決された。村では今月中旬にも県に申請し十二月定例県議会に可決されるよう手続き中である。現在では申請書の内容について県地方課と打合せ中である。